

i-SUS CHANNEL

アイサスチャンネル
vol.20

情報共有システム
information bridge



アイサスのお仕事
● クライアント突撃レポート
石川県小松市 株式会社江口組 様
● 建設業の"いま"を調査
石川県小松市 株式会社江口組 様
● i-SUS TOPICS
みなさんの役立つ
情報をお届け！



がんばろう
能登！



見附島



千里浜
なぎさドライブウェイ



お世話になります!

アイサスのお仕事

クライアント突撃レポート

アイサスのナビゲーター(案内人)がお客様のもとへお伺いし、対談するコーナーです。

株式会社江口組様 X 株式会社アイサス

千里浜なぎさドライブウェイ



株式会社アイサス
営業部
橋 秀太朗

株式会社江口組
代表取締役
江口 充様

株式会社アイサス
営業部
白澤 賢悟

今回は「感動・感謝・貢献」の3Kを掲げ、石川県小松市を拠点に創業100年を超える歴史を持つ、株式会社江口組様にインタビューのご協力をいただきました。令和6年1月1日能登半島地震の復旧作業や情報発信の重要性、建設業界へのメッセージなどをお伺いしました。



能登半島地震の復旧作業について

アイサス 現在の復旧作業の対応状況について教えてください。(取材時10/1時点)

江口社長 能登での復旧作業は4月末で終了しました。現在は、当社を構える石川県小松市も地震の被害があり、崩れた護岸の復旧工事に着手しています。また、市内の破損した下水道や道路の復旧工事も発注される予定であり、対応の準備を進めています。

アイサス 能登半島の復旧作業ではどのようなことを行いましたか?

江口社長 地震によって発生した土砂崩れや倒木などで塞がった道路をとにかく車が通れるようにと啓開作業を行いました。

アイサス 復旧作業に行った際、どのような体制で対応されましたか?

江口社長 所属する小松能美建設業協会では、合計5チームが3泊4日ずつ交代で能登に行きました。当社からは3人から5人体制のチームが延べ30日間にわたり能登で作業を行いました。復旧作業に行った際には、電気や水がなく、風呂に入れず、寝る場所もない、食料もない、燃料もないという状況で準備が大変でした。ガソリンの携行缶や重機の燃料、水をポリタンクに入れて持っていくなど必要だと思うものを集めて対応しました。

災害時のSNSやHPでの情報発信について

アイサス 復旧作業について、SNSやHP(BLOG)にて情報発信されていましたが「その想い」をお聞かせください。

江口社長 災害があったからというわけではありませんが、日頃から土木の役割や魅力を伝えることはとても重要だと思っています。実は、自分自身も1月1日に被害に遭い、避難所にいました。こんな状況下でSNSの発信をどうしようかと迷っていました。しかし、今回の地震においても地元建設会社が頑張っている姿や土木の役割を多くの方に知ってもらう必要があると使

命を感じ、地震発生2日後あたりから少しずつ情報発信を始めました。

アイサス SNSやHP (BLOG) で情報発信をして、どんな反応がありましたか?

江口社長 SNSを見て、県外の建設業者の方々から激励の言葉をいただいたり、物資を届けてくれる企業もありました。特に能登の方々から本当にたくさんのコメントをいただきました。道路啓開の様子をSNSにアップすると「この道路のすぐ先に実家があります」「ふるさとのためにありがとうございます」「この道は子供のころ通ってきた道なんです」「思い出の場所なのでよろしくお願いします」など住んでいるの方々にとって一つ一つに想いがあることを知りました。そのコメントを受け、復旧作業に対してもっと頑張ろうと思えるモチベーションに繋がりました。いただいた言葉は、社員や地元建設業の仲間にも伝えました。こういう言葉は、過酷な現場で頑張っている人たちにとって、とてもありがたいものでした。

建設業界に向けてメッセージ

アイサス 災害対応について、事前に備えておくべきことはありますか?

江口社長 備えをし過ぎて困るということはないと思います。特に建設業界で働く者としての心構えをつくっておくことが重要です。当社では、普段から現場で緊急時の訓練を行っており、若手社員向けの社内研修会では、災害発生時の土木の役割や使命について伝えています。

アイサス 建設業界に向けてメッセージをお願いします。

江口社長 まだまだ世間には、土木の役割や魅力が伝わっていないと感じています。今後は、普段から施工している工事においても、災害に強いまちづくりをしていることを理解してもらうことがとても重要だと思っています。

アイサス 本日の江口社長の想いを受け、当社は今後、石川県のみならず全国の建設業をさらに盛り上げるための活動を続けてまいります。インタビューにご協力いただき、誠にありがとうございました!

建設業のいまを調査

クライアント突撃レポートに引き続き、株式会社江口組代表取締役社長の江口充様に約10年に渡って取り組まれている「土木広報」についてお聞きしました。

SNS初心者さんには
×がおすすめ!

- 短い文章でOK
- 写真映えにこだわらなくて良い
- 気軽に投稿できる



YouTube



TikTok



Instagram



Facebook



他にもブログの投稿やラジオ出演、広報要素を取り入れた工事看板の設置やニュースレターの発刊を行っています!

広報活動に積極的に取り組むようになったきっかけ

10年近く前に採用活動をしていた時、学生さんが土木のことを良く思っていないことがわかりショックを受けました。そのため、業界のことは自分たちで発信しなければいけないと感じたことがきっかけの一つです。それから少し経ち、東日本大震災の際に東北地方整備局の局長をされていた徳山さんのお話を聞きました。「震災時の自衛隊の頑張りはたくさんの所で評価されているが、まずは地元の建設会社がかげきをどかして道路を通れるようにした。そういった第一歩が無いと自衛隊は活躍できなかったが、建設業界の頑張りは知られていないよね。」という話だったんです。建設業は自分たちの活躍を自分たちで発信しないんです。ですが頑張っていることは発信していかなくちゃいけないという徳山さんの話が後押しとなって広報活動を始めました。

SNSを活用することで得られる効果

一番効果が表れたのは採用活動です。以前は大手就職サイトを使用していましたが、5年間で1人しか入社してもらえませんでした。SNSを始めて最初の1、2年ほどはそれほど効果が出ませんでした。続けていると8年間くらいで約20人も入ってくれています。また、現場のイメージアップにもつながりました。クレームの声が少なくなり、「頑張ってるね」とか「ありがとう」という声もいただけるようになりましたね。



広報活動において大切にしていること

一番大切にしていることは楽しんでやることです。楽しいところに人や注目が集まると思うので、もう一つは結果をすぐに求めず、待つことです。結果が出るまでには時間がかかるので忍耐力が必要になってくると思います。あと、目的をしっかりと持つこと。投稿することを目的にしてしまうと趣旨がブレて全然面白くない投稿になってしまいます。江口組では土木の魅力伝えて土木のイメージアップをすること、採用活動につなげることを目的に行っています。

土木広報の今後の課題

我々が行っている公共工事はシビアな仕事なのでお堅いイメージがついていますが、土木広報では真逆の楽しさ・面白さをいかに出せるかということが課題だと思っています。その感覚を建設会社にいかに取り入れられるのか、ということも大切だと考えています。

特設スタジオ



江口組オリジナルキャラクター



広報活動はこちらから
ご覧いただけます!

江口組



江口社長



建設業界へ向けて

建設業界は今、人手不足や若者が入ってこないなどさまざまな問題がありますが、「広報」の力でこの課題が解決できると信じています。魅力や役割、一生懸命頑張っている人を伝えることで、建設業で働きたい、人の役に立つ仕事がしたいと思ってくれる子も増えていくと思います。それらが業界を応援してもらうことにもつながってくるし、業界の未来のため、課題解決のためにも広報活動は必要なことだと思います。

i-SUS TOPICS

令和6年1月に発生した能登半島地震により、被災された建設業者の方々へ様々な支援をさせていただきました。ともに社会インフラを支える企業として、皆様がスムーズに業務を再開できるよう引き続きサポートしていく所存です。



百成Message

今回の地震で甚大な被害にあわれた皆様にはお見舞いを申し上げます。あわせて、能登復興のために全力で取り組んでいただいている建設業者の皆様にはお礼を申し上げます。共に頑張りましょう。



アイサスの対応

- ① 一般社団法人石川県建設業協会様を通じて、ノートパソコン20台を提供 (2024/4/11)
→被災された建設企業へ寄付
- ② 各自自治体及び被災者へ寄付金・義援金の寄付
→石川県、珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、志賀町、七尾市、中能登町、羽咋市、宝達志水町、かほく市、津幡町、内灘町
- ③ 情報共有システムご利用者様への対応
→ご利用中工事の工期終了後（通常は62日後にデータは消去されます）もデータセンターにて登録データを保管
→災害における利用中案件の工期変更、利用延長等は無償で継続利用できるよう対応
※2024年12月24日対応終了予定

#能登のために

石川県

WEBアンケート受付中!

最後までご覧いただき、ありがとうございます。
今回の「i-SUS CHANNEL」はいかがでしたか?

今後のよりよい商品づくりのため、株式会社アイサスでは皆様にご協力をお願いしております。たくさんのご意見・ご感想をお待ちしております!

WEBアンケートはこちらから
WEBアンケートは随時受付中!

<https://www.i-sus.com/enquete/index.html>



株式会社 アイサス

本社 / 中・四国支店 / 東京支店 / 東北支店

サポートTEL. 050-3174-1871

平日(月~金曜日) ※祝日・年末年始を除く
9:00~12:00、13:00~17:30

2024年12月1日発行 発行：株式会社アイサス【本社】〒920-0016 石川県金沢市諸江町中丁171-1 梅信ビル2階
内容に関するお問い合わせ：TEL. 076-208-3420 / E-mail koho@i-sus.com <https://www.i-sus.com/> [アイサスQ](#)



IS 695200/ISO27001
CLOUD 797614/ISO027017

